

超開運術
ご利益
マップ

四天王寺で福徳・開運

靈驗あらたかな七つの
お堂を参拝しよう!!

こうしんどう
庚申堂



日本三庚申の一つ。庚申の日には本尊に祈れば必ず一心叶えられると言われ、境内の三猿堂には本彫りの見ざる・聞かざる・言わざるの三猿が祀られ、病にまさる、魔も去るとして信仰されている。



▼主な行事
○60日に1回「庚申祭り」があり、厄除け、病気平癒など祈禱会を厳修します。

① 円面金剛童子がご本尊
② 庚申の日に、お願いごとを考えながら「庚申こんにゃく」を北を向いて黙って食べると、その願い事は叶う。

まんとういん
万灯院



昔から下の世話にならないボクリ信仰があり、特に除災無病に靈験あらたかな徳衣の羅漢さんを祀るの「かみごさん」と親しまれています。



▼主な行事
○万灯院衣替 10月10日(午前8時半～)
○旧万灯院衣替 旧暦10月10日(午前8時半～)

① 本尊は十一面観音、臨侍に聖徳太子、不動明王、秘仏大黒天、地藏菩薩、普賢菩薩
② 木桶で灯籠を3回たたく。次は、自分の魂である場所をトントン3回たたく。

がんさんだいしどう
元三大師堂



元三大師は、第18代天台座主で、名を良源、諡号を慈恵大師といひ、寛和元年(985)11月3日が命日であるので、元三大師と尊称されています。



▼主な行事
○新春合格祈願法要 1月3日(午前10時～)
○明月元三大師護摩供 毎月3日(午前10時～)

① 現在の建物は江戸期元和年間、二代将軍徳川秀忠公寄進による再建で、国の重要文化財です。
元三大師は智慧の観音として、合格祈願の聖堂のあつち信仰を受けています。(1/3の様子)

ほていどう
布袋堂



聖徳太子の乳母をここに祀りた説もあり、乳に布袋尊、ちちのおんぼさんと称して、乳を望む婦人の信仰を集めています。



入口に「お乳が出ますよう」との願いを書いた紙馬が多く吊り下げられています。

① 本尊は石像の布袋尊、大坂七福神の一つとして有名。
お堂の前に襦袢で布袋尊があり、襦袢を呼ぶ布袋尊と参詣者が絶えない。

だいごどう
大黒堂



本尊は正面に大黒天、右に毘沙門天、左に辯才天の三面のお顔を持つ三面大黒天を祀っています。



▼主な行事
○大黒天供養法要 大黒天例祭・甲子大黒天 旧正天祭

① 現在の建物は享永2年(1849)の建立。
② 真心に祈れば商売繁盛、福徳自在、子孫繁栄の靈験があつち参詣者が多い。(旧正天祭の様子)

かめいぶどうそん
亀井不動尊



近畿三十六不動尊の第一番札所。聖徳太子が尊いお声に呼び止められ、亀井の水を汲くと、仏法の守護神である不動明王の姿が水面に映っていたため、ここに不動尊を祀ったのが起源。



▼主な行事
○不動尊供 毎月28日午前10時半～
○不動尊護摩供 毎月28日午前11時半～

① 現在の建物は昭和23年再建。
② 本尊は水掛け不動尊、左には子地蔵尊、右には金床地蔵尊をお祀りしています。

きゅうじまべんていどう
亀遊嶋辯天堂



「この池は月の影を宿さず、月無池と名づく」との言い伝えがあり、別名無池、この池とも言われています。
辯才天は、インドにおいて河の神とされたことから、水辺に祀られています。



▼主な行事
○辯才法要 毎月21日 午前10時～
○辯才天祭 毎月10/21 午前10時～

① この池の中央には亀遊嶋があり、嶋の中央には辯天堂があります。
人々を救いに導かれる為の知恵を表す舟・宝珠・鏡などを持つ八臂辯才天が祀られています。

四天王寺で買える!

授与品 & 記念品

※聖徳院 太子前殿にて授与

聖徳太子かるた ¥1,500.-

聖徳太子 キュビー ¥700.-

聖徳太子 技芸上達御守 ¥700.-

聖徳太子 曲尺太子御守 ¥1,000.-

聖徳太子 孝養御守 ¥1,000.-

聖徳太子 香御守 ¥700.-

聖徳太子 和御守 ¥500.-

太子二歳像 ¥1,000.-

四天王寺 散華 ¥1,000.-

聖徳太子絵伝 双六子ぬい ¥1,100.-

